

①. 自伐型林業の再造林時期は？
（回答者：自伐型林業推進協会）可能なかぎり再造林を行わない。主伐期が終わった場合、0.3haずつ小規模範囲にて再造林を行う。
②. 芦北町地域おこし協力隊は、一日何本程度伐っているのか？
（回答者：芦北町）一日5～6本程度。
（回答者：自伐型林業推進協会）自伐型林業は作業道の開設、伐倒から玉切り、運搬までであるため、一日に何本伐ればというわけではない。
③. 広葉樹の利活用は？
（回答者：天草市）現在、牛深地域の主産業である雑節生産の燃料として活用している。今後、家具類など高付加価値化を目指した商品開発等を考えている。そのための地域商社設立を検討している。
④. 自伐型林業で子どもを大学まで行かせられるのか？
（回答者：自伐型林業推進協会）50ha以上の収入間伐林（施業林）で可能。
⑤. 作業道は法的な制約を考えずに所有者の自由な考え方で開設できるのか？
（回答者：天草市）策定指針はあるが、法的な制約はない。地形や土質などに配慮した施工をお願いしたい。
⑥. 買取価格2万円/m <sup>3</sup> 前後で採算がとれるのか？
（回答者：自伐型林業推進協会）自伐型林業の施業手法などによる低投資低コストを実践すれば、十分採算がとれる。
⑦. 湧水はどうやってみつけるのか？
（回答者：自伐型林業推進協会）植生や土質、地形などの特性を知り、見つけることができる。たとえば、ダム湖上流域は多い。
⑧. 大径木の需要があるのか、儲かるイメージがわからない。
（回答者：自伐型林業推進協会）大径木すべてが儲かるのではなく、吉野材にみる高品質な大径木は今でも需要と供給が成立している。要するに「質」で勝負することである。

（会場内からの要望）自伐型林業でも参画できるように、森林経営計画の間伐率を30%から20%へと変えることを要望したい。